



2021年4月13日

株主各位

会社名 株式会社ポプラ  
 代表者名 代表取締役社長 目黒 俊治  
 (コード番号 7601 東証第1部)  
 問い合わせ先 取締役執行役員経営企画室長 大竹修  
 (TEL 082-837-3510)

## 2021年2月期通期業績予想と実績値の差異及び減損損失(特別損失)計上に関するお知らせ

2021年1月12日に公表いたしました2021年2月期通期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

## 記

## 1. 2021年2月期通期の連結業績予想と実績値との差異(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,382	△1,087	△980	△1,210	△102.69
実績値 (B)	19,240	△1,125	△1,012	△1,318	△111.82
増減額 (B-A)	△ 142	△ 38	△ 32	△ 108	
増減率 (%)	△ 0.7%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	25,370	△ 360	△ 219	△ 330	△ 28.02

## 2. 2021年2月期通期の個別業績予想の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業総収入	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,426	△ 968	△1,196	△101.53
実績値 (B)	18,215	△1,082	△1,214	△103.02
増減額 (B-A)	△ 211	△ 114	△ 18	
増減率 (%)	△ 1.1%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	24,535	△ 178	491	41.71

## 3. 差異発生の理由

当社は昨年9月に、株式会社ローソンとの資本業務提携の一環として、「ポプラ」「生活彩家」「スリーエイト」ブランドで営業している店舗の一部を「ローソン・ポプラ」もしくは「ローソン」ブランド店舗に転換することを発表し、現在、対象となる122店舗について、ブランド転換のための改装工事を進めておりますが、本年1月以降順次、改装のための一時閉店を進めた結果、一時閉店中の売上減少や売り減らしによる影響が想定を上回り、営業総収入は19,240百万円(前回予想比142百万円の減少)となりました。また、一時閉店に係る店舗等の閉店損失27百万円及びブランド転換等に伴う減損損失56百万円を特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する当期純損失は1,318百万円(前回予想比108百万円の減少)となりました。

#### 4. 減損損失（特別損失）の計上について

ブランド転換のための改装工事の日程や工事内容が確定した時点において、不要となる設備什器等を精査した結果、「ローソン・ポプラ」もしくは「ローソン」ブランド店舗で不要となる設備什器等について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の投資回収可能性を再検討した結果、減損損失 56 百万円を特別損失に計上することといたしました。

(注) 上記の予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上